

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)TRIAL上里店新築工事	階数	地上1F
建設地	埼玉県児玉郡上里町大字七本木字	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	1,924 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2018年4月 0.0	評価の実施日	2017年12月1日
敷地面積	26,916 m ²	作成者	吉永 拓郎
建築面積	8,826 m ²	確認日	2017年12月2日
延床面積	8,749 m ²	確認者	伊東 正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	道路面からの圧迫感に配慮し、後退した位置へ建物を配置し、平屋の計画とした。また、周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すために敷地周囲に緑地を配置した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・F☆☆☆☆建材を使用。	・階高にゆとりをもたせ、建物自由度をたかめた。 ・設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。	・敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・屋根材に断熱性能のあるものを採用した。	・断熱材はすべてノンフロン。	・適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される